

中央ユーラシアの文化と社会

梅村 坦・新免 康 編著

2011年3月31日発行

中央大学出版部 発行

本体価格 4,100円(税別)

まえがき		
第I部 文化・文明の歴史諸相		
第1章	アフガニスタン北部, オクサス流派の石灰岩製彫刻の研究 —近年我が国に請来された作品の紹介と二, 三の 図像学的問題を中心に—	田辺 勝美
第2章	ナーナク思想形成における中央アジアのインパクト —ナーナクとバーブルの遭遇を手掛かりに—	保坂 俊司
第II部 近現代中央ユーラシア世界の変容		
第3章	新疆におけるスウェーデン伝道団の活動とムスリム住民	新免 康
第4章	古代帝国に組み入れられる現代国家 —帝国型国家(Empire-state)と 現代中国の国家形態—	侍 建宇 (梶田雅美 訳)
第III部 現代に生きる人々		
第5章	パレスチナ・アラブ人によるヘブライ語小説 —アントン・シャマス『アラベスク』と ヘブライ語をめぐる考察—	細田 和江
第6章	多様化するゾロアスター教徒 —改宗ゾロアスター教徒に対する パールシー・コミュニティの反応—	香月 法子
第7章	漢語教育に対するウイグル人の意識 —教員と大学生に対するHSK, MHK に関するアンケート調査から—	王 瓊
第8章	現代カシュガルのウイグル人鍛冶職人集団 —歴史的考察への予備作業—	梅村 坦
あとがき		